

評価対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

令和6年度福岡市西部水処理センター下水汚泥固形燃料化施設 維持管理・運営業務評価報告

1. 施設概要

- (1) 施設名 福岡市西部水処理センター下水汚泥固形燃料化施設
(2) 所在地 福岡市西区小戸二丁目 5-1
(3) 施設の役割 下水汚泥処理方法を多様化し、下水汚泥処理処分の長期安定化を図るため、既存の焼却処理、民間セメント利用に加え、新たな下水汚泥処理方法として、バイオマス資源の下水汚泥から固形燃料を製造し、石炭の代替燃料として有効利用する。
(4) 施設内容 造粒乾燥方式燃料化施設
脱水汚泥処理能力：100 t/日 (50 t/日×2 系列)
(5) 供用開始年月日 令和3年2月1日

2. 維持管理・運営業務委託先

- (1) 受注者 福岡西部ジェイコンビシステム株式会社
(構成員)
(日鉄エンジニアリング株式会社)
(麻生商事株式会社)
(福岡レイン工業株式会社)
(2) 委託期間 令和3年2月1日から令和23年1月31日まで

3. 評価の目的

市は受注者が事業を確実に遂行し、要求水準や技術提案に掲げる基準に適合しているかどうか確認するため、毎年度モニタリングを行い評価する。

4. 評価方法について

受注者から提出された、業務書類や分析書類、保守点検に関する書類等を確認し、現地確認や受注者に対しヒアリングを実施したのち、「福岡市西部水処理センター下水汚泥固形燃料化事業モニタリング委員会」の意見を踏まえ、業務が適切に行われていたか評価を行う。

要求水準や技術提案に掲げる基準に適合し、業務が適正に行われていれば「可」とし、要求水準や技術提案に掲げる基準に不適合で、改善が必要であれば「不可」とし評価する。

主な確認項目

区 分	確認項目
要求水準に適合しているか	①有資格者の配置状況 ②業務内容 ③業務書類 ④脱水汚泥受入 ⑤下水汚泥固形燃料買取
技術提案に適合しているか	①各種分析値 ②緊急体制の実績 ③維持管理体制と緊急時準備体制

5. 評価結果

令和6年度評価は「可」とする。

所見

燃料化施設の維持管理・運営業務について、要求水準や技術提案に適合しているか確認したところ、適切に業務が行われていた。今後も下水汚泥を安定的に処理するため、燃料化施設の運転安定化や維持管理・運営業務の効率化等、さらなる改善に努めてほしい。